

わが家の田んぼは動物園

吉里小学校 四年 戸頭 敦

私のそ父母は、せん業農家をしていいます。

つくば山の西のふもとにある筑西市で、毎年
かがさすお米を作っています。そ父母がお米
を育てている田んぼには、きせつごとに色々
なごん虫や動物がやってきました。とてもにぎや
かです。まるで、田んぼは動物園の上うです。
毎年、春のあたにかいきせつになると、そ
父母は田んぼにいねのなえを植えるためのじ

No. 1

No. 2

ゆんびをはじめます。そ父母の田んぼに遊び
にでかけると、土手にはタンポポやナスナな
どの色とりどりのきれいな花がさいていて、
その周りではモンシロチョウやナナホシテン
トウ虫がのんびりと日向ぼっこをしています。
私はそれがほほえましく感じて、とてもやさ
しい気持ちになります。そ父がこう運機で土
地をたがやしているところには、どこからと
もなくハクセキレイやシラサギが飛んできま
す。土の中からほり起こされたよう虫やミミ

スを食べるためです。そんなチャッカリ者の
 鳥たちは、えさを食べるためにそ父がたがや
 した後をいそがしそうについて回ります。そ
 父と鳥たちは田んぼをパレードしているよう
 です。また、水路に目を向けると、ザリガニ
 とドジョウが水の中ですずしそうにしていま
 す。ザリガニは大きなツメを自まんげに持ち
 上げながら、とても強そうに歩いていきます。
 でも私が水路をのぞきこむと、びっくりして
 一目さんに後ずさりします。見かけによらず

おく病者です。ドジョウはいきょうのある
 顔をしています。でももの静かです。いつも水路
 のそこに体をもぐらせてじっとしています。
 ドジョウはきつとほがしがり屋です。そし
 て、秋のすずしいきせつになると、今度はア
 カトンボとイナゴがやってきます。大きく育
 ったいなほの上を軽やかに飛び回ります。実
 りの秋をうれしく思って、風にゆれる黄金色
 のじゅうたんの上をダンスしているようです。
 しかし、そんなにぎやかな田んぼも、いね

のしゃうかくも終えて、水路の水がなくなる
と、急に静まり返ります。もう草村でゴオロ
ギが鳴く声も聞こえません。私は、いつも田
んぼにやってくるみんなのことを思い出しま
した。こん虫や鳥たちは遊び場がなくなっ
て悲しんでいないだろうか、ザリガニやドジョ
ウは住家にゴまっていないだろうか、そして
ちやんと冬じたくできているのだろうか、こ
ても心配になりました。でも寒い冬が終わっ
て、またあたたかい春がやってくるし、みん

なはなにくおぬ顔で元気に田んぼにもどっ
てきます。そ父母の田んぼは、みんなによっ
てかけがえのないふるさとのようです。

そ父母の田んぼには、たくさんのおん虫や
動物がやってきます。それは、そこが緑ゆた
かですんだ水の流れる良い土地だからだと思
います。そして、そんなめぐまれた田んぼだ
からこそ、いつも美味しいお米が育つのだと
思います。そ父母の田んぼは、私にとって
ずっと大切に守っていきたいふるさつです。